

学位論文に係る評価基準

情報マネジメント専攻

ここに、情報マネジメント専攻の修士学位論文に係る評価基準について定める。

1. 修士論文に係る評価基準

(1) タイトル

研究の主な内容を適切に表したものであるか。

(2) 内容

- ① 研究目的が明確であり、情報マネジメントにおける各分野や領域の研究としての独創性や意義があるか。
- ② 先行研究や研究背景を述べており、修士研究の位置づけを明確に示しているか。
- ③ 研究対象、研究方法、研究手順を明確に述べているか。
- ④ 導入・導出した理論やモデルの妥当性、または、提案・設計・開発したシステムの新規性や妥当性が認められるか。
- ⑤ 事例研究、アンケート調査等により得られたデータ、または、導入・導出した理論や提案・設計・開発したシステムに基づく実験（シミュレーションを含む）及び性能評価に対するデータは信頼できるものか。
- ⑥ データ分析手法は適切か。
- ⑦ 文献引用は適切か。
- ⑧ 論文としての形式・文献表示は整っているか。
- ⑨ 論文全体として、論理的一貫性を有しているか。

(3) 発表

- ① 発表資料（レジメ）、視聴覚映像等は理解しやすく、明瞭であるか。
- ② 発表時間内に序論（研究目的、研究背景（先行研究の紹介を含む））、研究方法、または、提案理論・モデル、提案・設計・開発したシステム、結果、考察、結論を述べているか。
- ③ 質問に対して、適切に回答しているか。
- ④ 内容
 - ・ スライドの内容が簡潔にまとまっていたか。
 - ・ 主張したいことが適切に表現されていたか。
 - ・ 図や表が効果的に使用されていたか。
- ⑤ 発表時間
 - ・ 時間内に発表を終えたか。
 - ・ 時間配分は適切か。
- ⑥ 発表態度
 - ・ 明確に説明できていたか。

- ・ 回答時のマナーは適切か。
- ・ 質問に対して適切に答えられたか。
- ・ 声の大きさ・声のトーン・速さが適切であったか。

2. 修士論文の書式等

(1) 修士論文の書式

- ① 書式は、A4横書きで、フォントがMS明朝（10.5または11ポイント）とする。ページあたりの行数が33～38で、行あたりの文字数が36～40とするか、または標準の行数と文字数を使う。注釈は9ポイントとする。余白として、上が35mm、下が30mm、左が35mm、右が25mmまでとする。
- ② 分量は、図表と訳注、参考文献、謝辞等込みで、マネジメント系では50ページ以上、情報系では附録（長い式の導出、プログラムリストなど本文に入れるのが難しい内容）を含め50ページ以上とする。
- ③ 表紙は、横書き、年度、論文題目（フォント、太字16～20ポイント）、県立広島大学大学院、総合学術研究科情報マネジメント専攻名、氏名（フォント、太字14～16ポイント）をいれる。目次は横書き、章（フォント、太字12～14ポイント）・節は太字、ページ数を入れる。分野によって表記が異なることもあるので指導教員と相談すること。
- ④ 修士論文は製本または簡易製本すること。
（情報マネジメント専攻の大学院学生研究室に、過去のの修士論文が置いてあるので、参考にすればよい。ただし、学外への持ち出しは禁止する。）

(2) 発表用の要旨（レジュメ）の書式

- ① 要旨は2段組の投稿論文形式とする。構成は、修士論文題目（12～14ポイント、太字）、所属、指導教員名（****、11ポイント）、学籍番号、氏名（11ポイント）、本文等とする。本文までの部分はセンタリングで配置する。分量として、本文、図表・謝辞・参考文献等（9ポイント2段組）を含め、4ページ程度にまとめること。
- ② 書式は、A4横書きで、フォントがMS明朝（本文が9ポイント）とする。文字数と行数はMSワード使用の場合は「標準の文字数を使う」を選択して作成する。
- ③ 余白は、上が25mm、下が20mm、左が22mm、右が18mm程度とする。
- ④ 分野によって表記が異なることもあるので指導教員と相談すること。